

IEC/TC117 太陽熱発電の概要

対象機器：太陽熱発電システム

■背景及び課題

- ・2011年4月15日にIEC/TC117として設置が承認された。日本はP-Memberとして参加
- ・第7回国際会議が2016年10月6～7日にFrankfurtで開催され、国際標準開発を継続

■活動方針

- ・日本企業が世界的に遜色のない技術力を有しているタービン技術、集光技術、蓄熱技術等、太陽熱発電システムを構成する要素技術について、一部或いは構成システムに関する標準化提案を目指す。
- ・TC117における国際標準化活動には積極的に寄与する
- ・他の関連事業と連携するなど、日本企業の得意分野を中心に規格化提案(NP)を出す
- ・日本独自の太陽熱発電システム、及び蓄熱技術をはじめとする太陽熱発電のキーテクノロジーの技術開発を進め、太陽熱発電市場における日本企業の国際競争力を高める。

■成果

1. 原案作成Project Teamが設置され作業を開始しており、全てにExpertを派遣している。
2. 基本規格となる用語についてCDV発行。

■今後の予定

- ・次回国際会議(2017年10月:Morocco)開催に参加する。
- ・国内分科会(JWG1～JWG3)にてWD・CD審議に対応する。



タワー形太陽熱発電システム